

○下氷鉋小学校の教育理念
作新の心 144年の伝統



- 「日に新たに、日々に新たに、また日に新たなれ」
- 下氷鉋小学校の職員として
- ・体罰・非違行為は絶対にしない
 - ・いじめには毅然たる態度で解決にあたる
 - ・子どもを褒め、認め励ます姿勢に徹する

平成29年度
下氷鉋小学校グランドデザイン

下氷鉋小学校の教育目標
**心と体をはたらかせながら
共に学ぶ子ども**

【保護者・地域の願い】

- よりよい人間関係づくりを進めてほしい
- 一人ひとりの子どもの心に寄り添った指導を進め、確かな学力をつけてほしい
- 自然とふれあう体験を充実してほしい
- 安心・安全な学校生活を送れる環境を提供してほしい

柱1【授業の充実】

学力向上プラン

- 1 授業改善や学力向上を目指した重点的な取り組み**
 - ①「下氷鉋小学校授業スタンダード」の日常化
 - ②子どもが紡ぎ出すことばや行為への個人内評価による学習意欲の醸成
- 2 授業改善や学力向上を評価する検証方法**
 - ①学年会による各学カテストの考察と授業改善の対策会議
 - ②担任による個人内評価の記録の累積と考察
- 3 教職員の指導力向上のための研修**
 - ①特別支援教育・キャリア教育の視点から授業改善を進める研修会の実施
 - ②熟議を取り入れた校内研究会・校内研修会
 - ③学年会による教材研究の充実

下氷鉋小学校授業スタンダード

- 1: 授業のねらいの明確化**
・授業の見通しをもたせ、学習問題(課題)を必ず提示
- 2: 授業のめりはり**
・「ひとりになって(個人追究)」「ひとつになって(グループ全体追究)」考え表現する場の設定
- 3: 授業のねらい達成の見とどけ**
・本時の学びを自分の言葉で振り返る時間の設定
・1時間の成長を自覚させ、次の学習への意欲を高める教師の働きかけ

柱2【人・自然・社会との共生】

生活科・作新の時間の充実

- ・子どもと教師が「専心」できる題材の選定
- ・子どもの「専心」を支える教師の指導の工夫
- ・「専心」する子どもが紡ぎ出すことばや行為への個人内評価の累積

地域の教育力の活用

- ・人・自然・社会との繋がりを重視したホタル飼育や、地域の自然・歴史・産業・福祉施設等を活用した体験学習
- ・地域教育ボランティアを活用した特別活動や作新の時間の充実
- ・郷土への愛着を育むための地域行事等への積極的な参加

家庭と学校との連携

- ・保護者と教師、保護者と保護者が繋がるPTA活動
- ・家庭と学校が連携して進める「あいさつ」「靴そろえ」「家庭学習」

全校運動・全校音楽・共遊の充実

- ・体力の向上と共に、仲間意識を育む全校運動
- ・歌声を響かせ、全校の心が一つになる音楽集会
- ・異学年交流により、縦のより良い人間関係を育む共遊

柱3【生活習慣の確立】

あいさつ・返事・靴そろえ

- ・いつでもどこでも「明るいあいさつ」「返事」「靴そろえ」ができる子ども



学習規律

- ・話し手に目と耳と心に向けて聴く子ども
- ・授業開始までに学習の準備ができる子ども
- ・最後までていねいに学習を進められる子ども



健康なからだ

- ・自分のからだを大切にできる子ども
- ・基本的な生活習慣が身についている子ども
- ・好き嫌いなく食べる子ども



清掃無言

- ・清掃に専心することによって無言となる子ども
- ・自分から進んで**気づき清掃**に取り組める子ども



安全な登下校

- ・交通ルールを守って登下校できる子ども
- ・安全について自分で判断できる子ども



しなのきプラン29 の推進

～道徳教育・人権教育・特別支援教育を大切にしながら～

願い具現化のための3つの柱

【願い1】

自己肯定感・自尊感情を高める子ども

自分には、こんなすばらしいところがあると胸を張って言える ひがのっ子

【願い2】

自ら学ぶ子ども

自分から働きかけ、自分で思考し、自分の言葉を紡ぎ出していく ひがのっ子

【願い3】

共に学ぶ子ども

人を思いやり、人と関わりながら学ぶ ひがのっ子

学校長の3つの願い

